

## 品目別レポート（牛肉）

### ■品目説明

牛肉は、冷蔵牛肉（チルドビーフ）と冷凍牛肉（フローズンビーフ）に大別される。チルドビーフは、原産国において牛をと畜解体後、製品化のために所要のカット処理、包装などが行われ、0度前後の冷蔵状態で輸送される。フローズンビーフは製造後、急速冷凍が行われ、マイナス20度以下の冷凍状態で輸送される。

国連食糧農業機関（FAO）Food Outlook（2020年6月）によると、2019年の世界の牛肉生産量は、7,260万トン（枝肉換算ベース）と推定されている。

また、国内生産量は、近年減少傾向で推移していたが、平成29年度からは回復に転じ、平成30年度は33.3万トンとなった。一方、令和元年度は、和牛は増加したものの、性判別精液や和牛受精卵の利用推進により、交雑種及び乳用種の生産頭数が減少し、全体では33.0万トンと対前年度比1.0%減少。牛肉の自給率（重量ベース）は、36%となった（農林水産省『畜産・酪農をめぐる情勢』、令和2年7月）。

### ■貿易概況

▼表1：日本の牛肉（くず肉含む）輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
カンボジア	36,607,547	544	50,798,598	786	79,735,486	1,159	57.0	47.5
香港	43,126,953	792	37,387,921	709	46,519,733	878	24.4	23.8
台湾	12,118,372	211	36,877,377	628	33,779,141	633	△ 8.4	0.8
米国	26,913,023	373	29,921,265	421	28,205,377	398	△ 5.7	△ 5.5
シンガポール	12,044,020	227	14,252,929	247	15,513,223	289	8.8	17.0
全世界	170,865,025	2,707	223,607,965	3,560	272,348,802	4,340	21.8	21.9

注：対象はHSコード 0201、0202、0206.10、0206.29

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の牛肉（くず肉を含む）の輸出額は前年比21.8%増の2億7,234万ドル、輸出量は同21.9%増の4,340トンと、順調に伸びている。

輸出相手国・地域別にみると、輸出額1位のカンボジア向けが前年比57.0%増の7,973万ドル、輸出量1,159トン（前年比47.5%増）、2位の香港向けが同24.4%増の4,651万ドル、輸出量878トン（同23.8%増）だった。3位は台湾向けで、同8.4%減の3,377万ドル、輸出量は同0.8%増の633トンであった。

牛海綿状脳症（BSE）や口蹄疫の発生、11年の東日本大震災に伴う原発事故による諸外国・地域の輸入

規制など、輸出が困難な時期が続いたが、13年5月にBSEステータスの最上位である「無視できるBSEリスク」の国であることが国際獣疫事務局(OIE)に認められ、輸出にはずみがついた。内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出力強化戦略」では、19年の牛肉の輸出目標として250億円(4,000トン相当)が示され、日本ブランドを前面に立てた市場開拓・需要創出、輸出先国・地域の衛生条件を満たす食肉処理施設の整備による供給力の強化および動物検疫協議を進めるなど輸出先国・地域の多角化を目指す取り組みが進められている。

## ■海外事情

### ●香港

▼表2：香港の牛肉（くず肉含む）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ブラジル	1,347,389,669	377,699	1,601,050,663	460,844	1,246,486,673	404,108	△ 22.1	△ 12.3
米国	835,888,669	129,085	999,154,585	132,414	815,040,159	102,971	△ 18.4	△ 22.2
オーストラリア	150,607,025	32,087	161,294,832	33,740	142,319,658	28,908	△ 11.8	△ 14.3
カナダ	120,212,507	22,454	132,133,572	21,524	129,649,855	19,922	△ 1.9	△ 7.4
アルゼンチン	94,567,927	33,867	107,553,232	35,671	110,652,438	37,731	2.9	5.8
日本（8位）	42,192,632	854	35,339,363	814	41,301,237	973	16.9	19.5
全世界	2,976,528,879	709,173	3,393,848,510	784,513	2,827,342,739	687,224	△ 16.7	△ 12.4

注：対象はHSコード 0201、0202、0206.10、0206.29

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の牛肉(生鮮・冷蔵・冷凍、くず肉を含む)の輸入動向をみると、金額は前年比16.7%減の28億2,734万ドル、数量は同12.4%減の68万7,224トンであった。輸入相手国・地域の動向をみると、1位のブラジルは金額が前年比22.1%減の12億4,648万ドル、数量は同12.3%減の40万4,108トン、2位の米国は金額が同18.4%減の8億1,504万ドル、数量は同22.2%減の10万2,971トンだった。上位2カ国合計のシェアは金額で全体の72.9%、数量で同73.7%を占めた。日本は、19年は金額が同16.9%増の4,130万ドル、数量が同19.5%増の973トンだった。

香港での一般人向けのローカルレストランや中華レストランで提供される牛肉については、低価格のブラジル産が高いシェアを占めていると想定される。中華料理では味付けが濃い料理が一般的であり、食材の鮮度よりコスト削減を最優先する傾向がある。日本食以外の中華料理などでも日本産牛肉の需要を拡大させるためには、市場の需要動向に合わせ、より価格が低い部位の使い方などを広報することが重要であるとみられる。香港では、日本産牛肉(和牛)は富裕層を中心に一定のブランドとして認知されているが、オーストラリア産の“Wagyu”との違いを明確に理解している消費者は多くない。また、小売店によっては、同国産“Wagyu”に「和牛」のシールが貼られて販売されている。“Wagyu”は和牛より単価が安いいため、人気が高い。

## ●台湾

▼表3：台湾の牛肉（くず肉含む）輸入

（単位：ドル、トン、％）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	428,503,142	45,449	546,472,930	57,303	586,125,266	64,390	7.3	12.4
オーストラリア	224,065,698	33,713	192,602,334	31,157	197,275,723	31,500	2.4	1.1
ニュージーランド	126,244,673	22,176	139,920,391	25,344	106,383,435	19,536	△ 24.0	△ 22.9
パラグアイ	37,401,228	6,918	33,801,611	6,703	64,634,430	14,171	91.2	111.4
日本	12,445,677	199	40,065,569	639	35,932,703	636	△ 10.3	△ 0.5
全世界	882,901,992	120,891	998,572,834	132,307	1,036,190,701	140,967	3.8	6.5

注：対象はHSコード 0201、0202、0206.10、0206.29

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の台湾による牛肉の輸入額は、前年比3.8%増の10億3,619万ドル、数量は6.5%増の14万967トンとなった。国別にみると、1位は米国で前年比7.3%増の5億8,612万ドル、2位がオーストラリアで前年比2.4%増の1億9,727万ドル、3位がニュージーランドで24.0%減の1億638万ドルとなった。日本は5位で前年比10.3%減の3,593万ドルであった。

台湾当局は2017年9月18日、日本で2001年に牛海綿状脳症（BSE）感染牛が確認されて以来禁止していた日本産牛肉の輸入を16年ぶりに解禁した。アジアでは同地域からの訪日旅行者の増加などにより和牛人気が高まっており、台北でも「豪州産和牛」や「米国産和牛」をメニューに掲げた飲食店が目立つ。台湾で消費される牛肉の94%は輸入品であり、今後、台湾での日本産牛肉の市場拡大が期待される（『ビジネス短信』2017年12月25日付）。

ジェトロによる『現地市場価格調査』（2020年4月）によれば、ローワーミドル向け外資系店舗における鹿児島牛（霜降り、スライス、鍋用）150gの価格は339台湾ドル（約1,232円）だった。またアッパーミドル向け日系店舗での豪州産アンガスフィレが100gあたり320台湾ドル（約1,163円）、アッパーミドル向け外資系店舗におけるニューヨークストリップステーキA5ランク（冷凍、194g）が1,455台湾ドル（約5,288円）であった。

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006  
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル  
TEL：03-3582-5186

**【免責条項】**

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。